

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久領の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行っている。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業
 - (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
 - (3) スクール（寿）コンサート事業
 - (4) 中国の旅事業
- 2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業
 - (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
 - (2) 生活体験学習（通学合宿）事業
 - (3) 中学校生徒会交流事業
- 3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業
 - (1) 多久聖廟の維持管理事業
 - (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統

芸能の紹介の展示事業

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

- 4 図書製作販売事業
- 5 新年のつどい開催事業
- 6 各種教室・講座開催事業
- 7 法人運営・管理事業

【事業の実績】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

(1) 積菜事業

積菜は、多久聖廟創建（1708年）以来、311年の歴史があり、春（4月18日）、秋（10月第4日曜日）の年2回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

このような佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代への的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 実施時期：春（4月18日）、秋（10月28日）の年二回開催

イ 事業の対象者：一般住民（参拝者：春約1,500人、秋約4,000人）

ウ 周知方法：ホームページ、フェイスブック、市報、新聞、ラジオ、チラシ等を活用して、周知した。

(2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 募集（周知）方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ、ガイド誌等を活用して、周知した。

イ 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の方々に審査していただいた。

ウ 審査員：石川忠久先生（学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会理事長、専門は古典中国文学）、佐藤保先生（お茶の水女子大学名誉教授、専門は中国古典詩研究）

エ 表彰方法

1 2月2日に東原庁舎において、審査委員である石川忠久先生が公開講座後、発表し、作品の講評をしていただいた。

最優秀賞作品は、石碑に作品を書いた陶板を埋め込み、多久聖廟展示館周辺に設置した。

最優秀賞	春宵 (しゅんしょう)	かわばた めぐみ 川端 惠美	兵庫県神戸市
優秀賞	湖邊夜宴 (こへんのやえん)	まえだ たかひろ 前田 隆弘	兵庫県姫路市
優秀賞	夜尋蘭若 (よるらんにやをたずぬ)	こじま あきこ 小嶋 明紀子	神奈川県藤沢市
入選賞	旅夜 (たびのよる)	わかばやし ひろし 若林 浩	兵庫県宝塚市
入選賞	江都歳晚 (こうとさいばん)	たぬま ひろき 田沼 裕樹	千葉県松戸市
入選賞	小庭夏夜 (しょうていかや)	たかはし じゅんこ 高橋 純子	東京都杉並区
奨励賞	唐津花火大会 (からつはなびたいかい)	むとう むねひろ 武藤 宗博	佐賀県唐津市

オ 応募実績：海外及び全国より363点の応募（応募者256名）

(3) スクール（寿）コンサート事業

多久市在住の趙勇（揚琴演奏家）氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子供達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 開催場所等

(ア) スクールコンサート：市内義務教育学校 3 校（参加者：全校児童・生徒、教師、保護者）

学 校 名	開 催 日	参加者数(合計)
東部校	2月7日(2回)	71人
西溪校	5月18日(2回)	56人
中央校	11月9日、1月8日	177人

(イ) 寿コンサート

開催場所	開 催 日	参加者	参加者数
東多久公民館	2月21日	東多久町老人クラブ	約30人
多久町公民館	3月29日	多久町老人クラブ	約120人

(4) 中国の旅事業

多久聖廟は、孔子様を祀っており、長年、孔子直系子孫の方々と多久市民は積極的に交流をもっている。今回は、友好都市締結25周年を記念し、多久市民の翼として多久市と友好都市締結をしている山東省曲阜市の表敬訪問を行い曲阜市政府幹部及び教育関係者と交流を深めた。

曲阜市内では「孔廟」「孔府」「孔林」を視察訪問し、曲阜市政府の計らいにより簡易版の孔子祭を開催していただき、献花・参拝を行い、さらに記念植樹を行った。また、新たに整備された市民センター等も視察した。北京では孔子直系子孫の孔徳懋氏のお見舞いや、孔子基金会の陳泰旭氏、楊光氏との懇親会を行った。

この中国の旅事業をとおして、市民レベルでの中国と日本の交流を深めることができ、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 実施時期：平成30年7月4日（水）～平成30年7月8日（日）

イ 実施地域：曲阜市・北京

ウ 参加者：41名

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要あることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図った。

ア 対象児童：義務教育学校 3・4・5・6 年生

イ 募集方法：毎年 4 月に対象者全員（約 636 人）に案内チラシを配布し、周知した。

ウ 実施時期：毎月第 2・第 4 土曜日の午前中

エ 実施内容

1. ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60分8回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成した。

2. ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理した。

3. 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートしていただいた。

4. 他団体との交流

今年度は、8月に佐野常民記念館と交流研修を行った。子どもボランティア・博愛少年団の子供たちに多久聖廟のガイドを行い、郷土の歴史を伝えたのちに、佐野常民記念館で行っている活動内容の報告を受け、交流を深めた。

また、3月には、唐津市の旧高取邸にて現地研修を行い、多久の先人について学ぶことができた。

オ 育成実績：18人

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子供達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる最も大きな原因の一つは、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる友達と一緒に生活をしながら、様々な体験を通して、我慢する心、譲りあう心、思いやりの心を学ぶ場として実施した。

平成30度は、体験活動として毎年大人気の麺工房こうきの早田光希氏によるうどん作りや、「古代ハスを育てよう！」をテーマに多久町の聖光寺にある二千年ハスについて知ることのできる自然体験活動を行った。

ア 実施時期：9月19日～22日（3泊4日）

イ 実施場所：東原庁舎

ウ 募集方法：多久市内の各義務教育学校3～5年生の全児童に案内チラシを配布し、周知した。

エ 参加費用：5,000円

オ 参加実績：38人（多久高等学校よりスタッフとして4人参加）

(3) 中学校生徒会交流会事業

生徒会活動は、多くの学校がその学校単位のみで行っており、他の学校の活動について知る機会は少ない。このような状況の中、多久市内の生徒会役員が一堂に会し、子どもの遊び研究所主宰の百武博文氏に生徒会活動の参考となる講話をしていただいた。

ア 実施時期：12月26日

イ 実施場所：東原庁舎

ウ 参加実績：40人

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

(1) 多久聖廟の維持管理事業

当業務は多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行うものである。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示

館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庫舎」の3施設を一体的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で枳菜などの伝統文化に触れ、東原庫舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することができる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことができるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与した。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は311年の歴史を持ち、春と秋に枳菜を開催している。多久聖廟展示館では、多久聖廟の歴史及び多久の偉人の紹介や伝統・文化を紹介している。映像ライブラリーを設置し、訪れた観光客に対して多久聖廟や枳菜の詳細を、映像を通じて発信した。

また、現在の多久の魅力を知ってもらうため、多久百景写真コンテストを開催し、その作品を展示することで地域の活力ある発展に寄与した。

① 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示した。

② 枳菜に関する資料、衣装等の展示

枳菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示した。

③ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行った。

④ 多久百景写真コンテストの開催

多久市の四季・伝統文化・歴史を紹介するために多久百景写真コンテストを開催し、受賞作品を多久聖廟展示館に展示することで、多久市の魅力を来館者へ紹介した。

(ア) 応募実績：195点の応募（応募者77名）

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

当事業は、社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する事業を行うことにより、学芸文化等の研鑽振興を図った。

①貸与実績：利用件数275件 利用人員延べ3,794名（宿泊702名・日帰り3,092名）

4 図書製作販売事業

平成30年度は、平成3年に発行した「重要文化財多久聖廟」の改訂版の製作を開始した。論語カルタの販売では、平成25年度より導入したAmazonの通信販売は、全国各地からメディア等を通じて論語カルタを知り、注文を受けることができる窓口となっている。

また、ふるさと応援寄附金の特典品、多久市観光協会の通信販売サイトふるさとTAKU配便による販売も去年同様に注文を受けている。

今後も多久市観光協会や一般社団法人たく21と連携を行い、孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売することにより、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知する。

(1) 販売場所：東原庠舎、多久市物産館朋来庵、通信販売サイトふるさとTAKU配便、多久市まちづくり交流センターあいぱれっと、通信販売サイトAmazon.com

(2) 出版物概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）、論語いろはカルタ
論語日めくりこよみ、論語解説書、日本・中国・朝鮮の孔子廟、多久の詩情

(3) 販売実績：1,113,584円

5 新年のつどい開催事業

平成30年度は、天山多久温泉TAQUAにて多久市商工会及びJAさがの共催で開催した。

当日は、多久市民の有志が一堂に会し、佐賀県知事や県選出国會議員を来賓に迎え、共に新年の抱負を語り、お互いの親睦を図った。

- (1) 対象：一般住民、市内、市外の企業等
- (2) 募集方法：チラシ、市報、新聞、ホームページ等を活用して周知。
- (3) 開催期日：1月4日（金）
- (4) 開催場所：天山多久温泉T A Q U A
- (5) 参加者：167名

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図った。

(1) 市民大学運営事業

目的：様々な講座を開催し、多久市の生涯学習の発展に寄与することを目的としている。

ア 内容：中国古典の扉(旧論語教室)等18講座

イ 開催場所：東原庁舎や中央公民館など多久市内の施設

ウ 開催期間：6月～翌年3月

エ 参加人数：延べ1,564名

(2) ヨーガ教室：毎月第2・3・4木曜日及び土曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ354名

(3) 絵手紙似顔絵教室：毎月第2土曜、東原庁舎にて開催、参加者延べ59名

(4) 太極拳教室：毎週金曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ237名

7 法人運営・管理事業

(ア) 理事会開催状況

ア 平成30年5月9日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第1号議案 平成29年度公益財団法人孔子の里事業報告の承認について

第2号議案 平成29年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

第 3号議案 平成30年度公益財団法人孔子の里定時評議員会の招集について

イ 平成31年3月6日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第 4号議案 事務局長の承認について

第 5号議案 公益財団法人孔子の里事務局職員給与等規程の改正について

第 6号議案 平成31年度公益財団法人孔子の里事業計画について

第 7号議案 平成31年度公益財団法人孔子の里収支予算について

第 8号議案 生徒会交流会事業の廃止における公益目的事業変更認定申請について

第 9号議案 公益財団法人孔子の里評議員選定委員会委員の選任について

第10号議案 平成30年度公益財団法人孔子の里臨時評議員会の招集について

協議事項

公益財団法人孔子の里評議員選定委員会委員の決定について（監事協議）

(2) 評議員会開催状況

ア 平成30年5月23日

報告事項

平成29年度公益財団法人孔子の里事業報告について

決議事項

第 1号議案 平成29年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

平成31年3月20日

決議事項

第 2号議案 理事の辞任に伴う補欠選任について

協議事項

公益財団法人孔子の里評議員選定委員会委員の互選について

(ウ) 広報誌「鶴山書院報」発行

公益財団法人孔子の里の事業及び多久の歴史について紹介し、賛助会員等へ配布を行った。

第3号 平成30年4月1日発行

第4号 平成30年10月1日発行